

こんにちは せいてつ 病院です

地域医療支援病院 日本医療機能評価認定病院
社会医療法人 製鉄記念八幡病院
<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>

せいてつびょういん

高校生ふれあい看護体験

5月22日、将来医療をめざす地域の高校生7名が看護体験に来られました。今回は放射線技師をめざす学生さんにも参加していただきました。

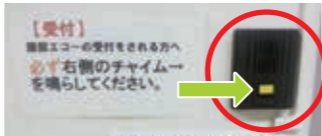


コミュニケーション ラウンジ

あなたのご意見より

超音波検査を受けるとき、検査室に受付窓口がなく、検査中で声をかけにくかったため、受診票を渡すことができませんでした。近くを通る職員が来るまでずっと待っていました。

A 生理検査室、心エコー室、超音波検査室には、インターホンを設置しています。受付される方は、チャイムを鳴らしてお待ちください。



ペットボトルキャップをあつめて
世界の子どもたちのワクチンを届けよう!

平成25年4月現在
1,552人分

3月 高槻市民センターさま
4月 エーザイ(株)コミュニケーションオフィスさま
中野内科クリニックさま
当院の患者さま

診療科目

内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科
呼吸器外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科	形成外科
産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科
病理診断科	放射線科	麻酔科			

専門外来

内科	血液外来／甲状腺外来／膠原病外来／ペースメーカー外来／腹膜透析外来／禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来(睡眠時無呼吸症候群)	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング／自律訓練外来	小児科	小児循環器／小児神経／小児腎臓／小児肥満	放射線科	放射線治療外来
		外科	乳腺外来	緩和ケア	緩和ケア外来

休診日:日曜、祝日、第2・4土曜日

予約センター: **093-671-5489**

夜間休日急患受付: **093-672-3111**

全科予約制

予約受付時間 8:00~16:00
当日予約 10:30まで



理念

安心・安全
患者さんの安心・安全
職員の安心・安全
病院の安心・安全

基本方針

患者さんの人権を尊重し
インフォームド・コンセントを大切に
安心して任せられる医療とサービスを提供します
地域との連携を大切に かかりつけ医との協力のもと
24時間信頼される診療体制を充実させます
最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め
チーム医療の推進を図ります

編集後記

春号より広報誌編集部に加わりました。病院や医療について知らないことがたくさんありますが、読者の方と一緒に広報誌を楽しむ気持ちで、編集に取り組みたいと思っています。
総務部総務課 久保文乃

こんにちは せいてつ 病院です

発行日 2013年7月1日
発行部数 4,500部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院
〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1
TEL 093-672-3176
<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>
編集・発行責任者: 病院長 石末 隆男

●広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp
●地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷: よしみ工業株式会社 表紙イラスト: かわぐち たまよ





地域医療支援病院の整形外科として、骨折などの救急外傷から関節リウマチ・変形性関節症、脊椎疾患など幅広い整形外科疾患の診療を7人の医師で行っております。各医師の専門性を生かし、最新の治療を学びつつも、患者さんに不利益のないよう、確立された治療法を選択し、確実な治療を行っていくことを方針としています。

2 特集 整形外科の紹介

整形外科とは

身体の芯になる骨・関節などの骨格系と、それを取り囲む筋肉や、それらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤という土台骨と、四肢をおもな治療対象にしています。

背骨と脊髄を扱う「脊椎外科」、上肢を扱う「手の外科」「肘関節外科」と「肩関節外科」、下肢の「股関節外科」「膝関節外科」と「足の外科」、スポーツによるけがや障害を扱う「スポーツ医学」、「リウマチ外科」、腫瘍(できもの)を扱う「骨・軟部腫瘍外科」など多数の専門分野があります。

また、スポーツ傷害や交通外傷、労働災害などによる外傷のほとんどは整形外科の疾患です。切創、挫創などのけが、打撲、捻挫、骨折、脱臼、関節損傷、脊髄損傷、開放骨折、切断指・肢などは、整形外科が扱います。



整形外科総合回診

製鉄記念八幡病院疾患別治療の特徴

外傷

代表的なものとして、高齢者に多い大腿骨近位部骨折、上腕骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折があります。交通外傷や労働災害では大腿骨骨折や脛骨腓骨骨折などの下肢骨折が多く、数多くの手術を行っています。

股関節

変形性関節症が代表的疾患であり、40歳くらいまでの若い方には骨切り術を中心として、それ以上の年齢の方には人工関節置換術を中心とした関節再建を行っています。

膝関節

半月板損傷、十字靭帯損傷、変形性関節症が代表的疾患です。関節鏡手術と人工関節置換術を中心に手術を行っています。

脊椎

おもに変形性脊椎症に伴う脊柱管狭窄症、脊髄症、脊椎不安定症に対して、椎弓切除術や椎弓形成術、脊椎固定術などを行っています。

肘関節

上腕骨顆上骨折などの外傷、靭帯損傷・離断性骨軟骨炎などのスポーツ障害に対する手術を積極的に行っています。

リウマチ

関節リウマチによる関節破壊に対して人工関節置換術、関節形成術などで関節再建を行っています。



変形性膝関節症 → 人工膝関節

変形性股関節症 → 人工股関節

大腿骨転子部骨折 → 骨接合

おわりに

すべての疾患が手術の対象となるわけではなく、十分な保存的治療を行っても、なお症状の改善がない場合に、最後の手段として手術治療をおすすめするようにしております。安易に手術治療をすすめるようなことはありません。

整形外科疾患は、加齢にともなう変性疾患が大多数で、なかなかすっきりせず長く通院していただくことが多いですが、適切な治療を続けることで、よりよい状態を維持できると考えております。

整形外科 TEL 093-671-9317

整形外科部長
リウマチ科部長
田山 尚久

日本整形外科学会専門医
日本リウマチ学会専門医
日本リウマチ財団登録医



櫻井医院

八幡西区折尾駅のホームから見える櫻井医院は、昭和30年先代院長が旧国鉄折尾駅西口の傍に、外科の有床診療所 櫻井醫院を開設され、今年で59年目を迎えておられます。平成5年に御子息である櫻井省史先生が院長職を引き継がれました。二代にわたってかかっておられる患者さんも多いとのこと。今回は、地域に根ざした櫻井医院を訪問しました。



院長 櫻井 省史 先生

Q：先生のコピーをお聞かせください

A：患者さんの訴えをよく聞き、まず診療の大まかな手順を分かりやすく説明して、治療を開始します。先代が掲げていた「正確、丁寧、迅速」をモットーに垣根のない「身内の気持ち」で、時機を大切に診療を心がけています。

Q：貴院の特色を教えてください

A：開院以来、月曜から土曜まで、18時までの終日診療を行っています。何でも相談に乗ってくれる総合的な診療を意味するプライマリーケアが求められますので、一般外科を中心にできるだけ裾野の広い診療に努め、朝は内視鏡検査から開始します。土曜には整形外科専門医、皮膚科専門医の応援をいただき、可能な限り当院での治療完結をめざしております。他科の研修会にも努めて出席してコンテンポラリーな情報とともに、他の医療機関の先生方との日頃からのスムーズな医療連携を心がけています。お薬は、患者さんにとって負担の少ない院内処方を行い先ず私が、ついでナース、最後に受付

窓口と3ヶ所で説明を行い、遺漏防止を図っております。



櫻井医院

八幡西区折尾4-2-10
TEL 093-691-0528

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	△

Q：貴院のホスピタリティについて伺います

A：「笑顔の応対」を合言葉に患者さんとの挨拶、対話を大切にして、心身面の細やかな変調を見逃さないように努めています。スタッフ全員の和、コミュニケーションの良さが、私をサポートしてくれています。

Q：当院へのメッセージをお願いします

A：市内病院随一の病診連携室の感じのよい応対が光っています。アクセスの良さは、そのままスムーズな病診連携、紹介へと繋がり、製鉄記念八幡病院の優秀な医師・看護師・コメディカルの方々がいつも懐深いところで温かくバックアップしていただいている心強さ、安堵を感じております。



後列中央は説明用模型のW.ジャック君



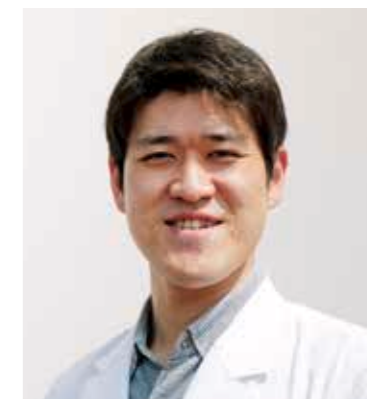
今回の探検隊

看護部 柳井 深雪
医療相談室 清國 睦美

患者さんの声に耳を傾け、対話を大切に診療を行っていただける櫻井院長は大変柔軟な考え方をお持ちでした。医療や生命科学について、色々なことを教えていただき、大変勉強になりました。また、医療のことだけでなく大好きな音楽についても、熱く語っていただきました。

診療科のご紹介

心療内科



心療内科医長 乙成 淳
おとなり じゅん

心療内科では「心身症」と呼ばれる疾患の治療を行っています。心身症とは、体の病気の中で、心理的なストレスが関係して起きる、または治りを遅らせているものを指します。うつ病などの心の病でも体の不調を感じることがありますが、これは厳密には「心身症」とは異なります。

じっとしてられず何か仕事をしていないと落ち着かない、細かいことを繰り返し考えてしまう、といった性格や思考・行動のパターン(心理的背景)、あるいは家庭や職場で強いストレスを感じる、引越しや職場の異動を経験した、など環境の変化(社会的背景)が体の病気を長引かせている場合があり、心療内科での治療の対象となるのです。

治療は、お薬を使ったもののほかに、医師・臨床心理士によるカウンセリングや動作法・自律訓練法といった心理療法を併用しながら行います。

診療対象の例

呼吸器系	気管支喘息、過換気症候群
消化器系	過敏性腸症候群、機能的胃腸症、機能的嘔吐
その他	疼痛性障害、咽喉頭部異常感症、軽症のうつ状態・パニック障害 など

心療内科では、対応可能な疾患か判断したうえで、外来の予約を受け付けております。

神経内科や精神科での診察が適切な場合には、ご案内させていただきます。受診をご希望の方は、まずはかかりつけの先生にご相談ください。



●診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前			● 初診		● 再診	● 再診
午後				● 再診		

心療内科 TEL 093-671-9302



新任医師紹介

4月1日より28名の新任医師が着任し、診療に励んでいます。
ご心配なことがあれば気軽にご相談ください。



肝臓内科
黒川 美穂

＜専門＞肝臓

肝臓内科に着任しました黒川美穂です。多くの方と関わることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。



消化器内科医長
浦岡 尚平

＜専門＞食道・胃・小腸・大腸

雨の如く隣町からやって参りました。力不足は否めませんが、新たな出会いが自分の成長につながると考えております。どうぞお手柔らかにお願いいたします。



糖尿病内科
野口 裕貴

＜専門＞糖尿病

糖尿病内科の野口裕貴と申します。まだ未熟で、色々ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。



腎臓内科
酒見 めぐみ

＜専門＞腎臓・透析療法
(血液透析・腹膜透析)

新天地で心機一転、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



脳血管内科
大崎 正登

＜専門＞脳血管障害

医師としては9年目になります。前任は大阪で3年ぶりの福岡です。福岡でのおいしい食べ物が楽しみです。



呼吸器内科
内藤 圭祐

＜専門＞呼吸器

呼吸器内科内藤圭祐と申します。温かい医療を提供できるよう心がけています。よろしくお願いいたします。



循環器内科
瀧口 知浩

＜専門＞循環器・高血圧

私は研修医2年間を製鉄病院で育てていただきました。これから循環器内科医として恩返ししたいと思います。



消化器内科
清森 亮祐

＜専門＞食道・胃・小腸・大腸

不慣れな点は多々ありますが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



心療内科医長
乙成 淳

＜専門＞心身医学・心療内科

はじめまして。心療内科の乙成です。心身症の治療に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



腎臓内科
岸本 啓志

＜専門＞腎臓・透析療法
(血液透析・腹膜透析)

腎臓内科1年目の岸本です。専門だけでなく、他分野の勉強もしていきたいので気軽に声をかけてください。



脳血管内科
熊本 将也

＜専門＞脳血管障害

脳血管内科のプラスαです。早く4人目になれるように頑張ります。



外科
戸島 剛男

＜専門＞肝胆膵・消化管

外科の戸島剛男と申します。専門は肝臓・消化器外科です。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



血管外科
久良木 亮一

＜専門＞血管外科

患者さんに合ったベストの治療が行えるように心がけております。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科
秋武 正和

＜専門＞泌尿器科一般

地域のみなさんのお役に立てますように、泌尿器科医として全力で医療に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



放射線科
上田 一生

＜専門＞放射線診断学

CT・MR等の画像診断や血管内治療等に携わらせていただいております。よろしくお願いいたします。



皮膚科医長
安川 晋輔

＜専門＞皮膚科一般

はじめまして。患者さんの安心・安全につながる診療を心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。



緩和ケア外科医長
高浪 英樹

＜専門＞緩和ケア・消化器

急性期の一般外科から緩和ケアに至るまで、幅広く患者さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。



救急・集中治療部
松本 泰幸

＜専門＞救急領域・全身管理

救急・集中治療部の松本です。慣れ親しんだ北九州で、患者さんの訴えと真摯に向き合った医療をしていきたいと思っております。

研修医1年次集合

「なりたい医師
理想の医師」



常に冷静に判断できる
度量と能力のある医師
中武 裕

患者さんに寄り添う
ことのできる医師
佐久間 努

能力と人間性に優れ、
人から信頼される医師
林 康之

患者さんに安心感と信頼
感を与えられる医師
内田 泰輔

明るく、誰からも信頼
される医師
江藤 綾柱

親しみやすく、みなさん
から信頼される医師
青柳 いくみ

皆に親まれ、患者
さんに信頼される医師
東 加奈子

親しみやすく信頼され
る医師
吉留 彩

患者やスタッフからも
信頼される医師
中尾 晶子

患者さんの心に寄り
そえる医師
四宮 綾子

23病棟

緩和ケアを必要とする患者さんやご家族に専門チームによる症状緩和・精神のおよび生活援助を提供します



緩和ケア病棟では、おもにがんに伴う痛みや体のきつさ、食欲不振などの症状の緩和と精神のおよび日常生活援助を提供します。病棟には緩和ケア外科医師2名(今村 秀緩和ケア外科部長、高浪 英樹緩和ケア外科医長)、緩和ケア認定看護師、大瀬 真弓師長はじめ看護師16名のスタッフに加え、主治医、心療内科医、臨床心理士、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカーなどのスタッフがチームを組み、それぞれの専門性を活かし、患者さんのサポートを行います。



緩和ケア病棟に入室後は、医師・看護師が詳細に様子を聞き、必要なケアを計画していきます。また可能であれば、患者さんのご家族の方にも緩和ケアチームの合同カンファレンスに参加していただき、患者さんご家族の意思をチームで共有し、各職種が専門性を発揮してサポートを行います。症状が落ち着けば、外出や外泊・退院も可能であり、必要な社会的支援の相談等もメディカルソーシャルワーカーと協力して対応しています。



また、他病棟からの依頼があれば、緩和ケア外科医師・認定看護師が回診に出向き、相談にも応じています。



回診中のようす

病棟は明るくゆったりとしたスペースで、南側の部屋の窓からは皿倉山が四季折々の景色を見せてくれます。全室個室でゆったりと家庭的な雰囲気の中で過ごしていただいています。

介護浴室での入浴や季節の催しなど、患者さんご家族の笑顔がたくさん見られるよう、スタッフ一同がんばっています。



特別室



有料個室



談話室

薬の話

湿布薬の豆知識

湿布薬には、うちみや捻挫、筋肉の痛みなどを和らげる効果があります。薬効成分、形状(パップ剤、テープ剤)、使用感(温湿布、冷湿布)やにおいの有無などが製品によって異なります。今回は湿布薬を上手に効果的に使う方法をお伝えします。

●パップ剤 (布製の生地の上に薬剤を塗ったもの)

- ・水分が多く、皮膚刺激が少なく、はがしやすい
- ・皮膚の保護作用、保湿作用、保温、保冷作用などがある
- ・膝や腰などの広い部位に貼る大きなサイズもある

●テープ剤 (フィルム剤に薬剤と粘着剤を塗ったもの)

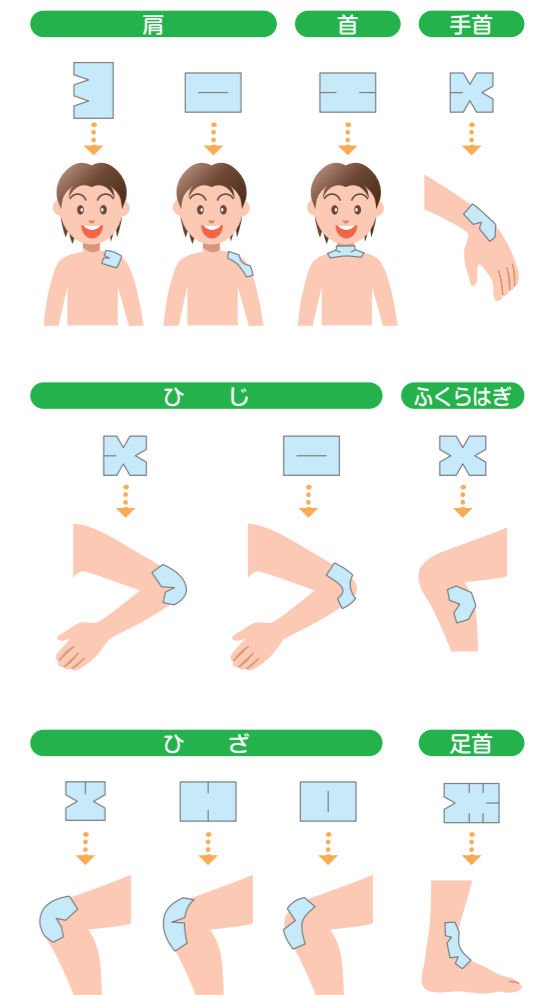
- ・薄くて粘着力が強く、はがれにくい
- ・肌になじみやすい肌色タイプもある

上手な貼り方

- 1 汗をかいたり、患部がぬれている場合は、よく拭き取ってから使用します。とくに入浴後は、30分から1時間くらいたって汗がひいてから貼りましょう。
- 2 肩や首、肘、膝、足首などの関節に貼り薬を貼る場合は、数ヶ所切り込みを入れると剥がれにくく、しっかりとくっきます。
- 3 同じ場所に貼ると、かゆみやかぶれが起こることがあるので、毎回少しずつ、ずらして貼るようにしましょう。

湿布薬の注意点

- 1 処方された湿布薬はほかの人に譲ってはいけません。
- 2 光接触皮膚炎
薬によっては貼っていたところの皮膚が紫外線によって炎症を起こすことがあります。戸外にでるときは天候に関わらず、貼っているところに紫外線をあてないようにしてください。はがした後も少なくとも4週間は紫外線に対する注意が必要です。
- 3 接触性皮膚炎
湿布薬の成分が皮膚に接触したことにより起こります。かゆみ・かぶれなどが現れたら、すぐにはがしましょう。皮膚の弱い方は長時間貼らないようにしましょう。



最近は、禁煙補助剤、気管支拡張剤、冠動脈拡張剤など皮膚から薬の成分を吸収させる経皮吸収型の薬剤も増えています。見ためはテープ剤のようですが、効果が全く異なります。湿布薬と間違えて使用したり、ほかの人にあげたりしないよう薬の管理には十分注意してください。

密着レポート!

第5回 製鉄記念八幡病院 地域医療連携の夕べ

6月11日(火)北九州八幡ロイヤルホテルにおいて「第5回地域医療連携の夕べ」を開催し、330名を越えるご参加をいただきました。当院の紹介率は92%(H24年度)、逆紹介率は94%(H24年度)と高い水準です。日頃からご協力・ご支援をいただいております地域医療のみなさまに、最近の診療状況報告と懇親会を行い、交流を図りました。

診療状況報告



当院の糖尿病教育入院

- 年間20回
- 日曜日(もしくは月曜日)に入院し、翌週の土曜日に退院。
- 1回につき男性4名、女性4名の最大8名。
- 原則4人部屋。

必須条件) 自ら入院して、学習しようという意思があること
その他の条件)
・2週間の入院が可能なこと
・原則 男性70歳未満、女性75歳未満
・認知症でないこと

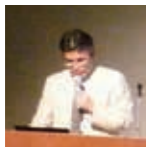
「当院における糖尿病診療の現状」
糖尿病内科主任医長 野原 栄



製鉄記念八幡病院 呼吸器外科手術件数
2011.4.1~2013.6.11の間の約26カ月あまり

肺癌	83例
転移性肺腫瘍	30例
気胸	30例
縦隔腫瘍	12例
その他	33例
合計	188例

「当院における呼吸器外科の現状」
呼吸器外科部長 塚本 修一



05歳女性 ASOの術前評価で血管内腫瘍切除術が成功した。
MRSO

「当院における脳神経外科診療」
脳卒中・神経センター長 鈴木 総



救急医療の提供: 当院の方針

- 北九州地域MC(Medical Control)体制の中で、特に中西部地区の救急医療体制の一翼を担い、その機能を全うする
- 当院かかりつけ患者を含んだ近隣住民のニーズに答える救急医療の提供
- 入院患者、院内発症急変患者への対応
- 継続し安定した質の高い救急医療の提供
- 院内全体での救急医療サポート

「当院における救急医療の現状」
救急・集中治療部長 海塚 安郎

懇親会スナップ



臨床検査技師の やさしいゼミ 検査の略語



検査結果をもらっても、略語が多く、何のことか分からないといったことはありませんか？
そこで普段よく行われる検査について、略語の意味をやさしく解説します。

脂質の検査	T-Bil	D-Bil
正式名称	総(トータル)ビリルビン	直接(ダイレクト)ビリルビン
院内基準値	0.3~1.5mg/dl	0.2mg/dl以下
説明	ビリルビンはヒト胆汁の主要な色素です。脾臓、肝臓などで老化赤血球の破壊により生じるヘモグロビンから生成されます。肝臓や胆道系の障害でビリルビンが血中に増加することによって「黄疸」の症状が現れます。そのビリルビンの血中濃度を検査することで肝胆道系の障害の指標となります。	肝臓の実質の疾患(急性肝炎、総胆管結石)などの障害の指標となります。
異常値を呈する疾患	溶血性疾患、肝細胞性障害(急性肝炎、肝硬変)、肝内胆汁うっ滞、新生児黄疸、Gilbert病など	



病院ご利用の

賢い選択

食事一部負担金減額



市民税非課税世帯の方が入院した場合、食事代の一部が減額されます。入院当日に「限度額認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」を入退院受付へご提出ください。入院当月に提出されない場合は、手続きできないことがあります。

● 減額区分

区分	一食あたり自己負担額
一般	260円
市民税非課税世帯に属し減額認定を受けた方	90日までの入院 210円 過去12ヶ月に90日を越える入院があり、長期該当の認定を受けた方 160円
70歳以上(低所得1*)で減額認定を受けた方	100円

*低所得1とは、収入から必要経費や控除を差し引いた所得が0円になる市民税非課税世帯に属する方です。

● 申請窓口

保険	窓口	申請に必要なもの
国民健康保険	市町村役場 国保年金課	●健康保険証・高齢受給者証または後期高齢者受給者証
協会けんぽ	全国健康保険協会	●印鑑
健康保険組合 共済保険組合 国民健康保険組合	各保険健康組合	協会けんぽ各組合保険の方のみ
後期高齢受給者	居住地の区役所 後期高齢者医療担当部署	●非課税証明書(市町村税務窓口発行)

■ お問い合わせ

入院会計 TEL 093-671-9550
(9:00~17:00)

医事課職員が病室に訪問いたします。
お気軽にご相談ください。

